

危機対応

国連開発計画（UNDP）



Empowered lives.
Resilient nations.

災害と暴力紛争は、開発に対する大きな障害です。これらは開発の成果を損なわせ、コミュニティを将来のリスクや衝撃に対して脆弱なものにします。

これらの危機に働きかけるため、人道および開発に携わる関係者は強靱性の構築を、危機対応と復興のあらゆる側面に取り入れなければなりません。早期復興アプローチを通して、国連開発計画（UNDP）は、緊急を要する人道面での対応と長期的復興とを結びつける重要な橋渡し役となります。

UNDPは、危機から復興し、強靱性を構築する過程におけるコミュニティとの協働に真摯に取り組みます。UNDPは、危機発生以前、渦中、以後のそれぞれの局面で現場に常駐し、分野横断的な役割を担う数少ない機関の一つです。それ故、UNDPは、危機発生時に迅速な行動をとることができます。

UNDPによる危機対応における早期復興アプローチは、コミュニティと政府のニーズが、迅速な復興と、持続可能な開発への効果的な移行という両方の側面から満たされるように意図されています。早期復興および強靱性構築の迅速な実施により、長期的な人道支援への過度な依存を防ぐ効果も見込まれています。

UNDPの危機対応

UNDPの危機対応の戦略においては、予測可能性、迅速さ、効果性、そして、UNDPの全組織を巻き込んだ包括的なアプローチが重視されます。他の機関との強いパートナーシップ、人道的活動、復興計画、持続可能な開発への有効な移行との明確な結びつきにより、このアプローチは強化されます。

危機対応のために、UNDPは早期警戒の情報や分析結果を収集し、経営上の意思決定と危機管理のための情報提供をします。UNDPは、企業の危機に対する備えを、能力強化とシステム開発を通じて確かなものとし、UNDPは、また、能力、専門性、緊急援助資金を動員し、危機対応に向けた迅速で効果的な評価とプログラムが実施されるようにします。

UNDPは、人道支援機関の参画を得ながら、強靱性構築が迅速かつ人道的活動に沿って実施されるように促しつつ、「早期復興のためのグローバル・クラスター・リード（Global Cluster Lead for Early Recovery）」としての役割を担い続けます。最後に、UNDPは、独自の早期復興プログラムのツールとプロセスを用いることで、人道支援機関と連携し、危機直後にあって被害を受けたコミュニティと政府のニーズを満たすことができます。

危機対応パッケージ

危機対応の戦略に沿って、UNDPは、自らが特に専門を有する現場で、迅速で効果的で、予測通りの支援を可能にする、数々の「危機対応パッケージ」を展開します。同パッケージのおかげで、UNDPの国事務所は災害や紛争後に、早期復興プロジェクトを迅速に立案し、切れ目なく実施することができます。



トルコにあるシリア人難民キャンプの少年。Photo: Ariel Rubin/UNDP

危機対応パッケージは、長期化する紛争や人道的なコンテキストの中で用いられることもある一方、復興と持続可能な開発プロセスへ極力早期に戻れるように明瞭な「カギ」を提供します。

危機対応パッケージは、調達やその他の事務手続きをはじめ、プロジェクトの進展と実施を加速させるべく、特別なプロセス、ツール、能力を含んでいます。同パッケージでは、専門家を国、地域レベルの機関へ派遣し、（対象国との）パートナーシップ構築にも努めます。また、資金調達、迅速な危機対応のための予算準備、アドボカシー、広報も同パッケージに重要な要素として盛り込まれ、UNDPが国事務所および受入国に対し、全組織的な支援ができるようにしています。

すべての危機は異なるもので、すべての迅速な危機対応も各文脈に合致したものとなります。一方で、UNDPの行動、支援条件は、既に明確化しており、今後、以下の分野においてパッケージとして開発されます。

1. コミュニティのインフラ、瓦礫／ゴミ処理を通じた緊急の生計支援
2. 緊急雇用、経済活動の復興、現金給付を活用した支援を通じた緊急の生計支援
3. 政府の中核機能復旧のための支援
4. 国家の復興計画および調整支援